

令和2年度 第2回高梁市地域包括支援センター運営協議会 会議報告

令和3年2月24日(水) 15:00～16:30

場 所 高梁市役所3階 大会議室1

《出席者》

仲田会長・渡邊俊雄副会長・中山美江委員・松原浩一郎委員・林学委員・竹谷紀子委員・太田聖眼委員

《事務局》

蛭田部長・大河次長・高原課長・石村所長・大塚補佐・内岡主幹・大福主幹・江藤主幹(健康づくり課)・森本係長・仲山係長

1. 開 会 (高原課長) 15:00

2. あ い さ つ(仲田会長) 15:01

コロナ禍で活動しにくくなり、人と人との関わりあう事業が難しくなっている
コロナでよかったことは、ICTを活用した会議の実施や体験できる1年となった。
ICT活用を進めていきたいと思っている。

3. 協 議 事 項

(1) 令和2年度 高梁市地域包括支援センター事業報告 15:02

①高齢者数と介護保険の状況(石村所長) 15:02

②重点的な取り組みについて(大福主幹・森本係長) 15:04

DVD(元気なからだづくり体操マイスター 備中町布施地区)

DVD(通所付添いサポート事業 川上地区)

③各委員会活動状況 15:31

地域ケアシステム検討委員会(森本係長)

認知症施策検討委員会(内岡主幹)

在宅医療・介護連携協議会(内岡主幹)

地域ケア個別会議(大福主幹・大塚補佐)

●質疑応答 15:50

仲田委員 P14 生活支援コーディネーターの設置は昨年から？

専任の方がおられるので、通いの場や地域の活動は整ってきているように解釈できるがどうでしょうか。今年初めて、この活動が繋がったような印象を受けた。

石村所長 専任は今年から。落合地区は生活支援コーディネーターの力が大きかったと思う。今年度から足しげく通い、信頼関係を築きながら、情報など地域で使えるものを取り入れていただければと思っている。「専任」の力は大きい。平成27年度からの成果がやっと出てきている。

松原委員 P20 ボランティアの人材不足のところで、グループワークの中で学生を使いたいとの案が出たということで、地元に貢献するという方向性であり、当大学ではボランティアセンターもあるので協力したい。1990年ゴールドプランが始まり、介護保険制度にそれが繋がった。ゴールドプランが介護保険までの間に、人材の育成、デイサービス、ショートステイなど在宅3本柱をどうやってつくっていくかが目標であった。その一つの流れで株式、有限、NPO、JAなどでも、介護保険の事業ができるようになった。今般 社会福祉の方で問題となっているのは、社会福祉法人のような公益法人は非課税、民間の株式会社がしているのは課税対象となり不公平ではないかと。社会福祉法人の在り方を検討した結果、社会福祉法24条第2項において、明確に公益法人の地域貢献を無償でと、国が強く求められているが、現実はなかなか出来ていない。例えば、さきほどの車やガソリン代など、人材不足などそういうところに結びつけて活動していただくと、ノウハウが結びつくのではないかと考えている。施策と繋がればソフト面 ハード面の充実を図って入れるのではないかと考えている。

＊第24条2 社会福祉法人は、社会福祉事業及び第二十六条第一項に規定する公益事業を行うにあたっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するように努めなければならない

(2) 令和3年度 主要事業について 16:20

①地域包括支援センターに関する事業(大塚補佐)

②高梁市権利擁護センター(仮) (森本係長)

●質疑応答 16 : 22

中山委員 車を使うには、事故の不安がある。車の保険は、どうなっているか。
全体として、連携も取れているし、期待もしている。

石村所長 通所付添は、県が組み立てたものに、市も仕組みを立ち上げた。車の問題は、社会福祉法人所有の車を空き時間を利用しての活用が、元々の根本であり、社会福祉協議会に話を持っていき、社協の車両を借りている。保険も、県が組み立ててくれた保険がある。1日1700円の車輛保険に市が加入し、事故があったときも安心安全で使えて、サポーターの人も安心して活動している。

林委員 住民主体で活動してることに、ご苦勞を感じています。また、コロナの影響で大変な1年だったと思う。私共の介護のスタッフは、技術をきちんと習得していても不意に怪我を負わせてしまうこともやっぱりあります。そういうときのために協会の保険にきちんと加入し、補償をさせていただく訳ですが、家族様からすれば信用問題にも関わってくる。住民主体といえ、私共は、介護教室を開催し介護負担の軽減などのニーズに対し、相談や介護用品の案内などしている。住民主体ということであれば、何かお役に立てるならと思っている。

竹谷委員 認知症カフェを開催しているが、タクシーで来られるひとがいる。この方の送迎が問題と思っている。カフェは、その場では相談が無いが、最近後から相談があった。相談できる場所は、ここしか無いと言われ、頼られたのがうれしかった。

渡邊副委員長 ロコモ予防体操は、地域の団体の最初の立ち上げの会長をし、活動していた。初年度、事故の問題があり、色々研究し安い保険に入った経緯があるが、活動中の事故がどのあたりが保険の対象となるか、境がわからない部分があった。危険性は常にある。道中の事故も考えられる。その辺の対応はどうなのか考えてみた。全体的に、地域での福祉は一つのテーマであり、ますます地域福祉の向上をお願いしたい。

仲田会長 それぞれの課が、いい施策を出しているのを見ているが、横糸がないといいネットにならない。
今回、コーディネーターが専任に出てきて、いい施策を上手に連携して

いき 横糸になってネットができていけば。

(3) その他 16 : 26

- ・令和2年度晴れやかネット拡張機能「ケアキャビネット(やまぼうし)」
操作説明会
- ・第6回たかはし福祉・法律何でも相談会 in 川上

4. 閉 会(渡邊副会長) 16 : 28

今日は映像もあり、わかりやすい反面、広範囲で根の深い問題があるなと感じた。色んな問題、在宅介護や弱者に対する対応のしかたとか、もう一つ地域格差が広がっているなという気も致します。全域で地域の福祉の向上をご尽力を賜りたいと思う。

